

Landscape

Value chain

耐震補強策

の優先順位と人命保護の観点から
耐震補強を実施

- ・ 優先順位
- ・ その他の事項

ユーティリティ

- ・ 主要設備

東海地震相応の地震力に対して耐震補強

- ・ 屋外スタンション

(基礎固定、配管サポート補強等)
被害の確保、被害との協定の締結
(復旧作業の迅速にするための対策)

生産設備

- ・ 主要設備
- ・ 生産製品の保護

東海地震対策

対策面では、①

②緊急時の資金手当てという2つの観点からリス

クファイナンスに取り組んだ。地震保険に関しては、保険ブローカーを活用して、所

得の損害保険の見直しを行い、その結果削減できた保険料を

保険料の拡大を図った。また、緊急時の資金手当てとし

Risk finance efforts



フロリアン・ゴールドマン個展 プロメテウスの飛躍 | Promethean Leaps

2022. 11.29[火]～12.6[火] 10:00-20:00

会場:TURN ANOTHER ROUND(仙台フォーラス 7F even内) 無料

ドイツ・ベルリンを拠点に活動するアーティスト／研究者のフロリアン・ゴールドマンは、東日本大震災における津波ならびに原発事故についてのリサーチを2013年より継続して行っており、その成果を「大災害のモデル (Modeling Catastrophe)」としてドイツ国内外で複数の展覧会や論考として発表しています。仙台には、2015年開催の国連防災世界会議への参加のほか、2018年にも沿岸部リサーチのため滞在した経験があり、今回の展覧会開催が実現しました。

本展「プロメテウスの飛躍」もまた、壊滅的な出来事を、表現、伝達、追悼、予測する手段としての「モデル／模型」(「model」の語源は「尺度」)の利用に関する、継続的な視聴覚調査の一環として開催します。プロメテウスはギリシャ神話に登場する神の一人で、非常な知恵者として知られており、天界の火を盗んで人間に与えたとされています。今回の展示では、戦後日本における技術信仰とそれにより生まれた安全神話というリスク、そして東京ディズニーランドの発展と資本・金融リスクという一見異なる二つの事例を、プロメテウスの飛躍になぞらえ、結びつけながら思考する試みとなります。

会場では、日本国内の歴史アーカイブ資料や映像資料を用いた映像インスタレーション作品を展示するほか、会期中には現在進行形の研究についてアーティストが解説するトークも開催します。東日本大震災から11年を経て記憶が風化するなかで起こったパンデミック、あるいはウクライナ侵攻といった度重なる巨大なリスクのなかで、我々が生き抜く術とは果たしてなんなのか、見いだす契機となれば幸いです。

○アーティストトーク

12月3日[土]14:00-15:30 言語:主に英語 予約不要

作家略歴:フロリアン・ゴールドマン | Florian Goldmann

1984年、ドイツ・ベルリン生まれ。視覚芸術、芸術、研究、メディア理論の分野でアーティストならびに研究者として活動している。作品の主な焦点は、歴史が立証する物語からこぼれ落ちてしまう、その他の潜在的な物語についてである。エジンバラ、アテネ、ベルリンの大学で彫刻、メディアアート、実験映画を学んだ。2014年から2018年まで、リサーチトレーニングセンター Visibility and Visualisation フェロー。日本での展覧会は、2013年のStudio 1-8-5 (東京)での個展と、「中之条ビエンナーレ 2019」(群馬)に続き、3回目となる。

会場アクセス:TURN ANOTHER ROUND(アナラン)

〒980-8546 宮城県仙台市青葉区一番町3-11-15 仙台フォーラス7F even内

TEL: 022-796-3308 Email: info@even-sendai.com URL <https://even-sendai.com/>

J R | 仙台駅より徒歩15分

地下鉄 | 南北線 広瀬通駅 西4出口より徒歩1分/東西線 青葉通一番町駅 北1出口より徒歩4分

車 | 駐車場は近隣コインパーキングをご利用ください

主催／お問い合わせ:Survivart(長内綾子) Email: ayya@mac.com

協賛: OF HOTEL

OFFICE HOTEL

助成:(公財)仙台市市民文化事業団

協力: ●●●●



BERLIN